

平成 19 年 2 月 28 日

東京電力株式会社
取締役社長 勝俣 恒久 様

社団法人 柏崎青年会議所
理事長 矢島博生

申し入れ書

私ども社団法人柏崎青年会議所は昭和 46 年に原子力発電所建設推進の決議を行い、後の平成 11 年にはプルサーマル計画受け入れに関する決議を行う等、国のエネルギー政策を一貫して支持し、貴社の活動を認めるとともに、地域振興を推進してきた立場でありました。

しかし、それは何よりも発電所立地地域住民の安全と安心の確保を前提になされた決議、活動であり、平成 14 年に露見したデータ隠し、改ざんに続くこの度の不祥事は、永年構築された信頼関係を裏切るものでありました。遺憾の意を表明せざるを得ません。

私ども社団法人柏崎青年会議所は青年経済人として、地域振興と地域住民の安全確保のため、日本のエネルギー政策の根幹を揺るがすことにもなりかねない事態を招いた貴社の企業体質とこれまでの取り組みに対しても疑念を残すところであります。

今後は本件に関わる原因の徹底究明と、二度と同じ過ちを犯さないための企業体質の構築に、誠実且つ迅速に取り組むことを貴社に対して要望し、下記事項を申し入れます。

記

1. 本件に関わる原因究明と再発防止策の確立
2. 原子力発電設備の健全で安全な運転を遵守するための企業体質改善の徹底
3. 原子力発電所立地地域との信頼回復のための取り組み

以上